

# 日刊 動労千葉

84. 8. 22

No. 1723

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

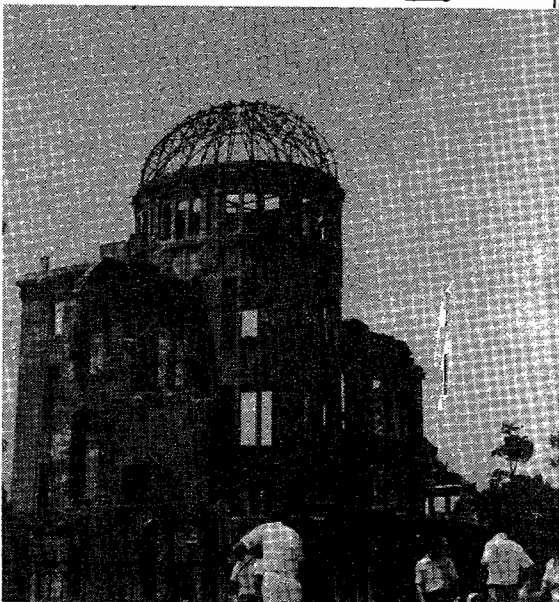
風雨にさらされて三九年。しかし、今こそ反戦・反核の本当の闘いが求められているのだ。（原爆ドーム）

## 三里塚と結ぶ広島の闘い、確信

### 84も原水禁、反戦、反核広島行動

#### に参加して 派遣団「青年部SS生」

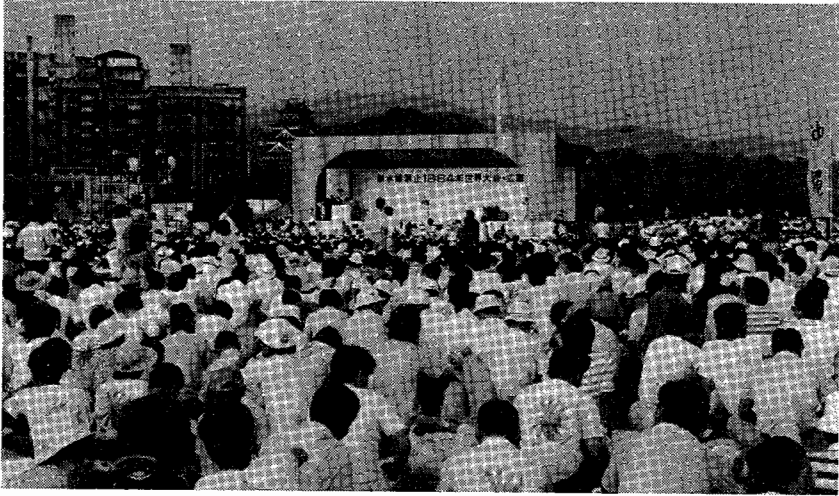
原水禁広島大会は、八月四日から三日間、長崎大会は八月八日から二日間、それぞれ広島市・長崎市において開催されました。巡航核ミサイル・トマホークの米太平洋艦隊への配備をはじめ、日本全土の核武装化、核基地化が進められている現在、反戦・反核闘争を爆発させ、中曽根内閣を打倒する闘いが強く求められています。動労千葉を代表し広島、長崎大会に参加した青年部員の報告を掲載します。



### 中曽根の軍事大国化路線に激しい怒りの声

8月4日から6日まで「原水禁広島大会」および広島市の地で三里塚闘争を先頭でたたかう反戦被爆者の会代表の小西のぶ子さんらが呼びかける「反戦反核の全国集会」に動労千葉から二人の代表で参加してきました。

原爆投下から39年、中曽根は、日本人民の反戦・平和の声をふみにじり、戦争の道へ突き進んでいます。中曽根の「核を使うのは保有国の勝手」なる発言は日本の支配者が核武装化を行うという証しです。



「原水爆禁止1984年世界大会・広島」（広島市中央公園）

そういう状況のなかで行われた8・6広島行動は、重要な位置にあったといえます。

しかし「原水禁」の集会等では、残念ながら、戦争へ向けた大反動と対決する明確な方針はだされないうままでした。「みんなで核戦争反対の声をあげよう」―これが一切の結論でした。

### 実力で闘いとる「反戦・反核」

#### 広島―三里塚の結合

一方、小西さんらが呼びかける行動は、5日早朝から6日夜まで2日間にわたり休む間もなく続けられていました。私達は、5日の平和公園、6日労働会館と2回の集会に参加してきました。

集会では、小西さんをはじめとする反戦被爆者の会の人達が「身を挺してでも戦争を阻止していく」と発言され、原水禁運動をのりこえてたたかう姿がありました。また、6日の原水禁各分科会での討論報告が反対同盟北原事務局長をはじめとして多くの人士から行われ、「三里塚二期攻撃と対決し、三里塚のようにたたかうことこそが勝利の道である」と「反戦・反核平和のひろば」の各分科で訴えてきたことが自信をもって述べられました。私達も、北原事務局長が参加し、訴えた分科会に出席したわけですが、すさまじい討論がそこではかわされていきました。今

さらながら三里塚闘争の重要性と実力闘争の必要性を反戦被爆者の会、反対同盟をはじめとする三里塚を闘う人から教えられました。

### 「10・10三里塚」総決起を決意

そして、あらためて今秋二期阻止の天王山である「10・10三里塚」の大結集を絶対に実現しなければならないことを誓いあいました。

私たちがこの広島行動での教訓を生かし、活動していきたいと思えます。



「核と戦争に反対する」全人民総決起集会（原爆資料館前）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！